

【 家庭分野 】

1 家庭分野における教育課程実施上の課題と指導上の留意事項

(1) 新学習指導要領の理解

① 「幼児と触れ合うなどの活動」について

- ・ 直接的な体験・・・幼稚園（保育所）等関係施設等との連携
地域・学校の状況から、幼児を招くなど可能な限り直接的な体験が出来るよう留意し、
困難な場合、間接的な体験など関わり方を工夫する。

② 「生活の課題と実践」について

- ・ 学習した知識と技術などを活用し、これからの生活を展望する能力と実践的な態度を育む視点から設定。1又は2事項を選択して履修させるようにする。
- ・ 履修の方法や時期・・・どの時期にどんな内容と関わらせて履修させるか、地域の実態や子どもの実態に応じて学校として決める。
- ・ 問題解決的な学習・・・計画→実践→評価→改善の一連の学習活動が重要。
学習した知識・技術を活用する問題解決的な学習・・・言語活動の充実
生徒自らが課題を持つ：学習したことを自分の生活と関わらせて考えるよう働き掛ける。
計画及び実践後の評価、改善をする：グループで検討したり、発表の機会を設ける。
実践の成果や課題が明確になるよう配慮する。
- ・ 家庭や地域社会との連携

「生活の課題と実践」例

- ・ A (3)エ 「家族または幼児の生活についての課題と実践」
自分の家族又は幼児の生活に関心を持つ
自分の家族又は幼児の生活をさらに豊かにするための工夫を考える
例) ・ 家族のコミュニケーションを深める工夫
・ 幼児の遊び道具，間食の調理，簡単な衣服
- ・ B (3)エ 「食生活についての課題と実践」
自分の食生活に関心を持つ
自分や家族の食生活をさらに豊かにするための工夫を考える
例) ・ 日常食の調理の計画と実践
・ 地域の食文化を生かした献立・調理の工夫
- ・ C (3)エ 「食生活についての課題と実践」
自分や家族の衣生活又は住生活に関心を持つ
自分や家族の衣生活又は住生活をさらに豊かにするための工夫を考える
例) ・ 衣服のリフォーム，洗濯や補修の計画と実践
・ 事故を防ぐ手だてとなる物の製作・・・防災との関連

※ 指導時間の設定例

課題を見付ける，調べる（1～2時間）計画を立てる（2時間）実践発表（2時間）

(2) 3年間を見通した指導計画・評価計画の作成

- ① 小学校における学習内容や他教科の指導も含めた生徒の実態の把握
- ② 生徒の実態及び指導時間等を踏まえた適切な題材の検討
- ③ 工夫し創造する能力や実践的な態度に関する指導法と評価方法の検討

指導計画作成の留意点

- ・ A (1) 「自分の成長と家族」・・・ガイダンスとしての扱いと，A (2) 又はA (3) の学習の導入としてもう一度扱う。

- ・ 「生活の課題と実践」・・・指導事項数（1又は2），履修の方法と時期を工夫する。
- ・ 内容D「身近な消費生活と環境」・・・A～Cのどの内容と関連を図るか。
- ・ 指導すべき内容に漏れがないよう確認する。

(3) 新しい内容を踏まえた題材の開発

- ・ 幼児との触れ合い，関わり方の工夫
- ・ 安全な室内環境の整え方
- ・ 環境に配慮した消費生活の工夫と実践

(4) 実践的・体験的な活動，問題解決的な学習の一層の重視，言語活動の充実

(5) 指導と評価の一体化

(6) 教育環境の整備

① 新規設備

- ・ ミシン等必要な備品・・・「布を用いた生活を豊かにする物の製作」「衣服の補修」
- ・ 幼稚園（保育所）等関係施設等との連携・・・「幼児と触れ合うなどの活動」

② 安全の検討

- ・ 食品等の安全で衛生的な取扱い，食品の購入・管理
- ・ 幼児に対する配慮や安全確保，校外学習の安全確保

2 学習指導と評価の工夫改善

(1) 学習指導の工夫改善

① 実感を伴った理解を深める実践的・体験的な学習活動

どういう意味があるのか，なぜそうなるのか，考えさせる指導の工夫

② 学習した知識・技術を活用する問題解決的な学習

3年間を見通した長期の指導計画の工夫，題材ごと・単位時間の授業の指導の工夫

(2) 学習評価の改善

評価規準の設定について

① 題材の評価規準

- ・ 題材の指導目標を明確にする
- ・ 複数の内容の「評価規準に盛り込むべき事項」及び「評価規準の設定例」を参考にする

② 学習活動に即した評価規準

- ・ その時間のねらいや学習活動に照らして設定する
- ・ 毎時間4観点について評価するのではなく，いずれかの観点到重点を置くなど，適切に設定する

3 言語活動の充実について

(1) 家庭分野における言語活動の充実

① 実習の結果を整理し考察する学習活動の充実

体験から感じ取ったことや気付いたことをまとめたり，結果を整理し考察したり，共有化したりする活動を工夫する。

② 生活における課題を解決するために言葉や図表，概念などを用いて考えたり，説明したりするなどの学習活動の充実

(2) 言語活動の充実のポイント

① 実践的・体験的な活動の前後の学習活動を工夫

② 考えた過程が分かるレポートの記入欄を工夫

③ 問題解決的な学習の各学習過程で，言葉や図表，概念などを用いて自分の考えたことを説明したり，表現したり，話し合ったりする活動の充実

4 参考となる資料等

- ・ 「評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料」：国立教育政策研究所
- ・ 中等教育資料 学習評価（平成23年2,4,6,7,10月号，平成24年2,4月号），思考力・判断力・表現力をはぐくむ学習指導の展開（平成22年9月号），家庭分野の授業改善のための視点（平成22年7月号）

